

機能、栄養表示で訴求

ミカン、モヤシ、トマト、ケールなど

青果物の機能性や栄養成分を打出して販売する動きが進んできている。

2015年から制度がスタートした「機能性表示食品」は、生鮮青果物で20商品を超えた。また、食品に含まれる特定の栄養成分の機能を表示する「栄養機能食品」も増えつつある。今月15日からは、宮崎県とJ-A宮崎経済連からなる「みやぎブランド推進本部」が完熟キンカン「たまたま」を栄養機能食品として売出した。消費者の健康志向が高まる中、機能性表示食品、栄養機能食品の取組みにより差別化販売や商品・県産品のイメージ向上などを狙う。

事業者の責任で、科学的根拠を基に商品パッケージに機能性を表示する「機能性表示食品」。消費者庁に受理されている食品の届出年を見ると、生鮮青果物（表）では17と種類が増え、機能性も

「内臓脂肪を減らす」(リンゴ由来プロシアニジン)、食後の血糖値の上昇を抑える(ルテオリン)など広がってきた。18年に消費者庁に受理された「ソフトケールG

届出年	届出者名	商品名	機能性関与成分名
2015	三ヶ日町農業協同組合	三ヶ日みかん	β-クリプトキサンチン
2015	サラダコスモ	大豆イソフラボン子大豆もやし	大豆イソフラボン
2016	サラダコスモ	ベジフラボン	大豆イソフラボン
2016	太子食品工業	小大豆もやし	大豆イソフラボン
2016	とびあ浜松農業協同組合	とびあみかん	β-クリプトキサンチン
2017	清水農業協同組合	清水のミカン	β-クリプトキサンチン
2017	イオントップバリュ	オーガニック大豆もやし	大豆イソフラボン
2017	南駿農業協同組合	西浦みかん	β-クリプトキサンチン
2017	広島県果実農業協同組合連合会	広島みかん	β-クリプトキサンチン
2017	九州ジージーシー※	大豆イソフラボン小大豆もやし	大豆イソフラボン
2017	名水美人ファクトリー	大豆イソフラボン小大豆もやし	大豆イソフラボン
2018	つがる弘前農業協同組合	プライムアップル!(ふじ)	リンゴ由来プロシアニジン
2018	ありだ農業協同組合	有田みかん	β-クリプトキサンチン
2018	カゴメ	GABA Select(ギャバセレクト)	GABA
2018	Tファームいしい	ひなとまGABA(ギャバ)ミディまと(フルティカ)	GABA
2018	紀南農業協同組合	紀南みかん	β-クリプトキサンチン
2018	Wismettac フーズ	糖調唐辛子	ルテオリン
2018	藏光俊輔	藏光農園ゆらわせみかん	β-クリプトキサンチン
2018	森幹也	森隆みかん	β-クリプトキサンチン
2018	瀧本雅史	瀧本農園温州みかん	β-クリプトキサンチン
2018	富士食品工業	小粒大豆もやし	大豆イソフラボン
2018	増田採種場	ソフトケール GABA(ギャバ)	GABA
2018	三菜寿	野菜でルテイン ちぢみほうれんそう	ルテイン

※九州ジージーシーは法人格の変更により、届け出を撤回

ABAは、「GABAには血圧が高めの方の血圧を下げる」と報告されている」との旨を表示したパッケージで今月末から販売を開始する。葉が薄くてやわらかく、サラダにも向く品種で、「どうしてもこれを機能性表示食品にしたかった。健康寿命の延伸に貢献したい」(増田採種場の増田秀美専務)とする。

一方、栄養機能食品は科学的根拠が確認されている栄養成分を一定の基準量含む食品である。果実に含まれるビタミンC、Eとその機能をパッケージで打出す「たまたま」(上)、「ソフトケール」は増田採種場の圃場で栽培されたものが機能性表示食品となる



果実に含まれるビタミンC、Eとその機能をパッケージで打出す「たまたま」(上)、「ソフトケール」は増田採種場の圃場で栽培されたものが機能性表示食品となる



ば、届出をしなくても、国が定めた表記によって機能を表示できる。村上農園の「マルチビタミンB12かいわれ」、「リコピン人参こいくれない」(NKアグリ)などがある。

宮崎県の青果物ではすでに「ビタミンプーマン」が栄養機能食品として販売され、「たまたま」は2例目。たまたまではビタミンCとビタミンEの機能をパッケージに掲載する。また、機能性表示食品では、加工品の扱いに

なるが冷凍の「宮崎そだちのほうれんそう」(シェイエイフースみやぎ)が昨年受理されたところだ。みやぎブランド推進本部では、「当県の農産物は豊富な日照量の下で栽培される。健康に良いとのイメージ醸成に努めたい」と意気込む。